

# 平成 30(2018)年度 廃棄物処理業者向けフォーラムの実施結果について

栃木県環境森林部廃棄物対策課

## 1 取組の趣旨

廃棄物・リサイクル産業は、県民の生活や地域の経済活動を支える重要な産業であり、また、循環型社会の形成や災害廃棄物の処理など、様々な場面で重要な役割を果たしており、今後も更なる成長が期待されます。

そこで、県と関係団体では、廃棄物処理施設に対する県民理解促進事業の一環として、廃棄物処理業者等を対象としたフォーラムを開催しています。

今回は、産業廃棄物業界における人材の確保・育成・定着及び雇用環境整備をテーマに、「人財サービス企業」として中小企業支援に実績のあるアデコ株式会社による基調講演、県内の廃棄物処理業者による事例発表及びパネルディスカッションを行いました。

## 2 開催日時

平成 31(2019)年 2 月 13 日 (水曜日) 14:00～16:30

## 3 会場

栃木県総合教育センター 大講義室  
(宇都宮市瓦谷町 1070)

## 4 参加者

77 名 (廃棄物処理業者 55 名、その他 22 名)

## 5 内容

### (1) 基調講演

「人材確保と働き方改革～産業廃棄物業界における人材の確保・育成・定着及び雇用環境整備～」

講師：アデコ株式会社 ソリューションセールス課

井出 良博 氏、村上 寿和 氏

### (2) 事例発表

発表者：株式会社真田ジャパン

代表取締役会長 五月女 明 氏

株式会社ダイセキ 関東事業所

管理課長 市川 喜洋 氏

### (3) パネルディスカッション

パネリスト：講師、事例発表者

コーディネーター：(公社) 栃木県産業資源循環協会

常務理事兼事務局長 湯澤 元浩 氏



基調講演の様子 (アデコ(株) 井出氏)



パネルディスカッションの様子

## 6 結果等

基調講演では、中小企業の人材確保等に関するコンサルティングの実績を元に、採用において目的を達成するためのプロセスとタスクの組み立て方や、定着のために重要視すべき要素の課題抽出や対応策例などについて、お話いただきました。

事例発表では、各社の人材育成に対する考え方や取組事例等を発表していただき、続くパネルディスカッションでは、基調講演や事例発表の内容を元に意見が交わされました。

アンケートの結果では、多くの参加者から「参考になった」又は「ある程度参考になった」との回答をいただきました。

平成 30(2018)年度 廃棄物処理業者向けフォーラム アンケート結果

○参加者：77名 ○有効アンケート回答数：55件

(単位：件)

Q. 1 あなた又はあなたの会社は、次のどれに該当するか教えてください。

①収集運搬業者	②処分業者	③排出事業者	④県市町等	⑤その他
16	28	7	4	0

※複数該当の場合、②処分業者（処分業者でない場合は①収集運搬業者）として計上

Q. 2 今回のフォーラムに参加した理由を教えてください。

①事業の参考にするため	②廃棄物処理業界の状況等を知るため	③講演内容に興味があったため	④事例発表に興味があったため	⑤その他
24	17	6	8	0

Q. 3 フォーラムの時間はいかがでしたか。

	①ちょうど良い	②長すぎる	③短すぎる	④どちらでもない	無回答
フォーラム全体	41	4	1	2	7
基調講演	36	10	1	1	7
事例発表	29	2	15	2	7
パネルディスカッション	31	1	11	4	8

Q. 4 フォーラムの内容はいかがでしたか。

	①参考になった	②ある程度参考になった	③あまり参考にならなかった	④参考にならなかった	⑤どちらでもない	無回答
基調講演	34	12	3	0	0	6
事例発表	30	13	2	2	1	7
パネルディスカッション	23	17	3	2	1	9

<参加者の感想等>

- ・採用方法の工夫、定着化への取組が参考になった。
- ・各社の行っていることが見られて良かった。是非参考にさせていただきたい。
- ・「変わらなければならない」ことがよく分かった。

Q. 5 廃棄物処理業を継続・拡大していく上での抱える問題（自由意見も可）

- ・人材の確保、社員の仕事に対するモチベーションUP、スキルUPに結びつけるための手段
- ・人材確保と処理工程の機械化

<自由意見>

- ・人材の確保・育成・定着は、全ての業界に共通する課題。我が国の人口減少に対処するため、何をすべきなのか、手がかりになる話であり、大変勉強になった。

以上